

## 武雄市行政改革プランの主な成果〔平成29年度〕

本市では、市民と行政が共に力を合わせ、少子化と人口減少を克服し、将来にわたり活力ある地域を維持していくため、「行政サービスの最適化」、「組織と人」、「財政基盤の強化」を改革の戦略と位置づけ、平成29年3月に第3次行政改革プラン(平成28年度～平成32年度)を策定しました。

このプランに基づき、迅速に対応するコンパクトな組織体制、持続力ある健全な財政運営を目指し、行政改革の39の具体的な取組項目を定めて取り組んでいます。このたび平成29年度の進捗状況をまとめましたので、主な成果をお知らせします。

### 行政サービスの最適化

#### 事業の「選択」と「集中」

- ◆平成30年3月に北方幼稚園を閉園しました。

### 組織と人

#### 組織改革

- ◆健康・福祉・保健施策のさらなる充実を図り、だれもが暮らしやすく、幸せを実感できるまちづくりを行うため「福祉部」を設置しました。
- ◆育ちと学びの機会の充実と、切れ目ない子育て支援の充実を図るため「こども未来課」を設置しました。
- ◆21世紀型スキルを育む先進的な教育の取り組みを「導入」から「実践」へ展開し、さらなる発展を図るため「新たな学校づくり推進室」を設置しました。
- ◆雇用のさらなる創出、地元事業者と連携した産業振興、起業支援に取り組み、市民所得の向上を図るため「商工課・雇用創出係」を設置しました。
- ◆その他、両支所の廃止に向けた検討、窓口サービス業務に関する協議を行いました。

#### 定数管理

- ◆再任用職員の活用等による人員削減を行いました。(14名減)

### 財政基盤の強化

#### 歳出の抑制

- ◆平成29年10月に開設した「こども図書館」に指定管理者制度を導入しました。
- ◆職員数削減、時差出勤の推進等により人件費を削減しました。 約1億1000万円  
(※職員人件費については一人当たり年平均750万円で算出)

## 自主財源の確保

- ◆ふるさと納税を推進しました。 寄附額：約6億5900万円（前年比約2.8倍）
- ◆滞納整理機構との共同差押等により滞納整理を強化しました。 約600万円
- ◆遊休資産を売却しました。 約1700万円
- ◆県内他市との比較検討等により、ごみ袋料金及び証明発行手数料を見直しました。 約2700万円
- ◆新たな工業団地（東川登町）の整備に向けた、地元説明会及び地質調査等を実施しました。

## 公営企業・特別会計等の経営健全化

- ◆上水道事業：佐賀西部広域水道からの受水を抑制し、新規起債を抑制しました。 約2500万円の効果
- ◆下水道事業：平成29年4月より企業会計へ移行しました。
- ◆競輪事業：特別競輪（GⅡ）、ミッドナイト・ナイター競輪等開催により販売機会を拡大し、平成18年以来の車券発売額を記録しました。

## 取組項目以外の実施状況

行政改革プランの取組項目以外でも、少子高齢社会において市民一人ひとりが自分らしく幸せに生きられる、将来にわたり活力ある地域を維持していくために、社会構造の変化に対応したサービスの拡充等を実施しました。

- ◆小児時間外診療事業：市内での365日の時間外診療体制を確立しました。
- ◆病児・病後児保育事業：市内保育園への併設に向けて事業を推進しました。（平成30年4月開始）
- ◆こどもの医療費助成事業：小中学生の医療費助成を現物給付化しました。（申請手続きの省略）
- ◆就学援助：高校進学等への準備金を新設しました。
- ◆こどもの貧困対策事業：切れ目ない支援体制の構築のため「こどもの笑顔コーディネーター」を設置しました。
- ◆発達障がい児等の支援事業：通級指導教室を新設しました。（市内5校へ）
- ◆全小学校の学習環境改善：普通教室の空調設置率100%へ向けて事業を推進しました。（平成29～30年度）
- ◆生活支援体制整備事業：地域包括ケアシステムの構築を推進しました。（高齢者の生活支援）
- ◆高齢者運転免許証自主返納支援事業：タクシー利用料金を助成しました。